



あれこれ通信

しぶやとみこの議会報告

NO. 58

2009年5月5日

渋谷とみ子の会

埼玉県比企郡嵐山町平沢 254-64

Tel / Fax 0493 -62-7997

<http://www.k2.dion.ne.jp/~saiko/shibuya/>

Eメール shibuya97@s4.dion.ne.jp

水と緑と土で、気候変動を和らげるまちづくりを。

毎年、桜の開花が早まっています。
気候変動が目に見えてきました。

地球温暖化は避けられない事実として、私たちは捉えるべきなのでしょう。私達のくらしが環境に少しでも負荷を与えないように、国も町も地球温暖化に対応した政策が必要です。平成21年度予算が決定しました。このなかで、気がかりなことが3つあります。

ひとつは、21年度予算でも、効果的な地球温暖化対策の視点が政策として不足していることです。

役場庁舎の隣に学校給食センターを建設します。給食に使う熱エネルギーは東京電力から購入し、太陽光発電のような自然エネルギーではありません。防災倉庫も学校給食センターの裏に建設するので造成します。そのため、山を崩し、緑が少なくなります。

志賀堂沼（役場への進入路の起点にあります）は、平沢土地区画整理組合の土で、半分以上埋め立てられてしまいました。21年度は志賀堂沼公園設計予算50万円が生まれ、地元と協議して公園をつくります。生物が生活しています。広い水面で、埋め立てる前と同じように緑のある美しい園にしてください。沼は洪水防止のため水を貯める機能もあります。

地震の災害予測マップを策定する予算もあります。地球温暖化によるゲリラ洪水もおきていますが、嵐山町では水害予測マップは作りません。災害は地震だけではないので残念です。食糧自給率を上げる政策やもっと緑や水面を増やす政策、CO2を削減するための積極的な公共交通の政策などが不足しているので残念です。



もうひとつは国民投票法用のシステム改修です（国の100%予算で改修します）。安倍政権が制定した国民投票法は、最低投票率がなく、投票した

人のうち多い結果で憲法改正をするかどうかを決めます。町で国民投票の集計を行い、国に送信するための投票システムです。最低投票率を制定した国民投票法の改正の運動はしていかなければと考えています。

最後のひとつは、貯蓄高がとても低いことです（詳細は最後のページ）。今年は何とかなっても、来年はどうなるのか。

住民にとってなくてはならない政策、未来に生きる子どもにとって必要な政策を選択していかなくは、継続的な普通の生活ができなくなります。行政も議会も国に効果的な予算配分を求める働きかけが必要です。